

南中学校区地域コミュニティ円卓会議（略称：南中円卓会議）とは（1）

南中円卓会議の目的（会則より）

市民自らが考え行動することを前提に、南中学校区内で様々なテーマに基づき活動する団体等が自主的に集まり、地域内における課題とその解決に向けた話し合いを行い、合意した事業および活動について、自らが「まちづくり」を進めると共に、市にその方策を提案することを目的とする

1. 「新しいまちづくり制度」の創設

平成20年7月6日、大阪狭山市は市の財源を効果的に投資し、市民が真に必要とするサービスを提供するため、3つの中学校区を単位とする「新しいまちづくり制度（円卓会議）」の創設を発表しました。

市民自治への契機づくりと、より市民ニーズに即したまちづくりや事業選択などを市民に委ね、市民が施策・事業の優先順位付けをして合意した事業に対し、500万円を限度として市に予算提案します。市が予算化すれば、市民の手で事業を進めることが出来ます。

2. なぜ南中円卓会議設立が必要か

南中学校区では、

- ① 高齢化率が市の平均 19.3%に対し 26.3%
（西山台2丁目の 39.1%を筆頭に5地区が 30%を超えている）
- ② 人口が市の微増または横ばいに対し、この8年間で約 10%減少
- ③ ニュータウン開発後約 40 年経過し駐車場や空地・空家等の増加による環境変化（治安悪化？）

など、他地域に比べ、少子高齢化対策、まちの活性化、広域的な防犯・防災対策などを最優先しなければならないという課題があります。

そこで市が創設した制度を活用し、「自分たちの手で南中学校区の新しいまちづくりを進め、このような地域課題を解決していこう」との認識の下に南中円卓会議を設立することにしました。

⇒設立経緯については「南中円卓会議とは（2）」をご覧ください

3. 南中円卓会議で取り組む課題とは

高齢者の生きがいづくり、広域で取り組むほうがより効果的な防犯・防災や環境対策、一つの団体では解決できない課題への対応など次のビジョン達成のための課題に取り組みます。

- ① 地域コミュニティを豊かにするまちづくり
- ② 安全・安心なまちづくり
- ③ 福祉・高齢化に向けたまちづくり
- ④ 環境に配慮したまちづくり

4. 南中円卓会議設立のメリット

- ① 地域に最も必要な事業提案
事業予算提案だけでなく、行政の施策に対しても、優先付けなど住民意識や意見・要望などを反映させることが可能になります。
- ② 地域の一体性の確保
住民の参画や各種団体が連携することで連帯意識が芽生え地区に一体感が生まれます。
- ③ 地域活動の相乗効果
各種団体の活動を連動させることにより、お互いの活動への刺激と活動活性化の相乗効果が期待できます。
- ④ 地域内の課題解決
地域型活動の自治会や目的テーマ型活動のNPO 組織などの各種団体が連携することで、個々の団体では解決できなかった課題が解決可能になります。
- ⑤ 効果的な役割分担など
広域的テーマを円卓会議に振り分けることにより各団体の負担軽減が可能になり、地域内の人材を適切に配置・活用することで効率的な役割分担が可能になります。